

(2)地球温暖化防止活動推進員による「温暖化STOP親子教室」 事務局：兵庫県地球温暖化防止活動推進センター

「地球温暖化防止活動推進員」「推進協力員」の委嘱

兵庫県では、地域からの地球温暖化防止活動を促進するため、県民の皆さんへのきめ細やかな普及啓発や実践活動を企画・実施していただくことを目的として、135名の「地球温暖化防止活動推進員」（以下「推進員」）を委嘱しています。

推進員の活動支援を行っているのが、（財）ひょうご環境創造協会内にある「兵庫県地球温暖化防止活動推進センター」（以下「推進センター」）です。推進員には、ひょうごエコプラザを活動基盤として県内全域に出向く「広域活動推進員」と、各地域を活動範囲とする「地域活動推進員」がいます。

また、345名（平成14年4月現在）の「地球温暖化防止活動推進協力員」（以下「協力員」）がおり、推進員をサポートしながら一緒に活動を行っています。

（活動例）

- 市町と連携した講演会・イベントの企画・実施
- 自治会等での県民運動・環境活動の支援・コーディネート
- 啓発資料を使った「家庭での省エネ・エコチェック推進」の呼びかけ
- 市町広報誌等への温暖化問題関係記事の掲載
- ひょうごエコプラザでの相談・アドバイス業務、セミナー等での講演 など



温暖化STOP親子教室

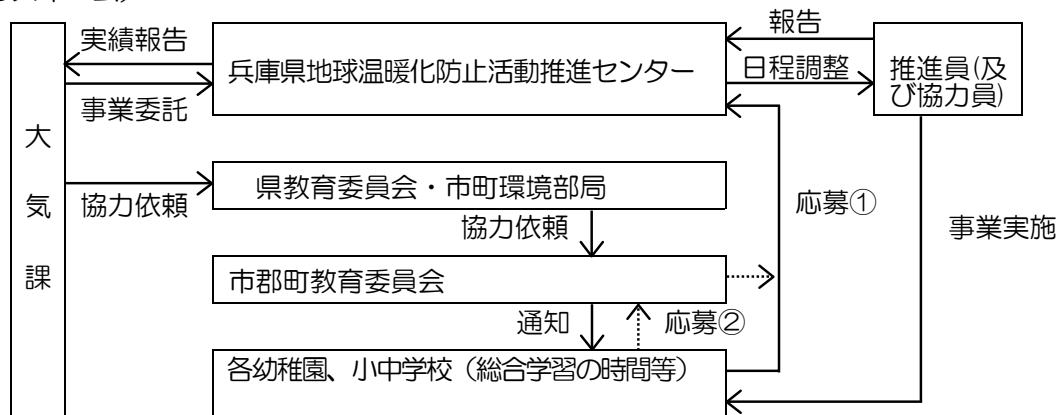
地球温暖化を防止するには、子どもの頃から地球温暖化についての認識を持ち、この問題を解決するための行動を日常生活の中で当たり前実践できるようになることが必要です。そこで、兵庫県では「子ども向け温暖化防止活動」支援事業として、「温暖化STOP親子教室」を行っています。

実施方法：①各地域の推進員が各地域の幼稚園・小中学校を往訪し、教室を開催します。

②資材：幼稚園には紙芝居を中心に、小中学生にはビデオを中心に各種啓発資料（パネル、学習キット等）を用意します。学校等で用意いただくものも活用します。

③交通費：各推進員に「推進センター」より支給します。

（実施のスキーム）



* 応募ルートについては、①→、②→のいずれでも可（市町毎に決定）

活動事例 ー神戸市立泉台小学校（推進員：高橋栄一さん）ー

広域活動推進員の高橋栄一さん（以下「高橋さん」）は、平成14年10月2日、自宅から一番近い泉台小学校に自ら赴き、竹田校長先生に「温暖化問題についての授業をさせて下さい」と話しました。

校長先生の決断と小学4年生を担当した亀井先生、木村先生の協力により、小学4年生の「総合的な学習の時間」のうち、13時限を「地球温暖化に関する学習」とすることに決まり、高橋さんがゲストティーチャーとして全ての講義を担当することになりました。生徒には「ゲストティーチャーが来ます」と前もって知らせていたので、熱烈に歓迎してくれたそうです。

日時：①平成14年10月24日（5、6時限）、②31日（5、6時限）
 ③11月7日（5、6時限）、④14日（6時限）、
 ⑤22日（1、2時限）、⑥29日（5、6時限）、
 ⑦12月6日（1、2時限） 計7日間（13時間）

対象：4年1組（27名）、2組（26名） 計53名

担任：1組 亀井進先生 2組 木村晃幸子先生

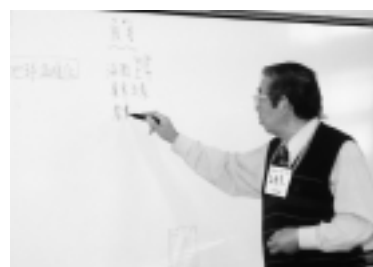


	学習内容	学習ポイント	資料
① 10月24日	地球温暖化について知る 1.南の島キリバスの写真からキリバスの環境問題と阪神地域で起こりうる問題をワークショップ方式で書き出す。 2.紙芝居を読み、そこに含まれていた環境問題を書き上げる	・地球儀で世界の国々を知り、世界観をもつ。 ・外国の海面上昇問題から、身近な阪神地域の問題を考える。 ・紙芝居などの楽しみを用意し、集中力を持たせる。	CASA 総合学習教材より、「沈みゆく南の島キリバス」「温暖化と私達」紙芝居「私達の地球を守ろう」（COOP編）
② 10月31日	温暖化の原因を知る 1.前回の学習の感想を生徒全員がホームページに書き、グループ発表。 発表内容について推進員が補足説明 2.温暖化ビデオ上映	・生徒の理解の程度を知る。（「楽しみにしている」との感想あり） ・温暖化の原因となるCO ₂ 発生源の説明を通じ、省資源・省エネルギーの必要性にふれる。	学校のパソコン 地球儀 ビデオ「温暖化から地球を守る。僕らで作る新グスコウブドリの伝記」
③ 11月7日	ライフスタイルの見直しと再生可能エネルギーについて知る 1.今までの学習で「わかったこと」「これから取り組みたいこと、すべきこと」について作文を書き、グループ発表。推進員が講評。 2.神戸市作成ワークシート2種実施 3.風力発電キット、ソーラーカーキットを見せながら再生可能エネルギーの説明。	・宿題にしたワークシート「家庭から出るCO ₂ 」は、生徒の父母に協力してもらうことで、家庭での取り組みに広げる契機となる。 ・キットを見せると子ども達の集中力が高まる。	「地球温暖化と私たちの暮らし」ワークシート（神戸市編） 「CO ₂ の発生源」 「家庭から出るCO ₂ 」 風力発電キット、ソーラーカーキット（ひょうご環境創造協会より借用）
④ 11月14日	「わたしとぼくの地球にやさしい最高生活」を追求する 1.上記テーマのアイデアを生徒全員がホームページに記載、発表。推進員が講評。 2.第2回エコグッズ大賞受賞作品「温室効果デモンストレーション実験装置」でCO ₂ の温室効果を見る。	・学校の特徴であるホームページを有効に使うって参加型学習を推進した。 ・各自の考える力を引き出すテーマ設定をした。 ・アイデアグッズへの生徒の興味は絶大だった。	学校のパソコン 温室効果デモンストレーション実験装置（ひょうご環境創造協会より借用）
⑤ 11月22日	現地調査（省資源につながるリサイクル回収の実態調査） 1.PTA資源回収場所をカメラとチェックシートをもって調査。グループ発表。 2.リサイクルキットでリサイクルの行程を説明	・省資源・省エネルギー型ライフスタイルの形成にリサイクル分別回収が必要であることを実感してもらう。 ・家族ぐるみの取り組みの必要性に気づく。	リサイクルキット（アルミ缶、スチール缶、牛乳パック、ガラスビン、ペットボトル） （ひょうご環境創造協会より借用）

	学習内容	学習ポイント	資料
⑥ 11月29日	今までの学習のまとめ 1.全員が自分のすべきことについて発表。 推進員が講評。 2.ビデオ上映	・各自の学習成果をまとめた。 ・ビデオで前回学んだリサイクルの必要性を再認識させた。	ビデオ「ゴミは宝の山」
⑦ 12月6日	推進員による学習のまとめと、生徒による学習のまとめと情報発信 1.推進員が白板に今までのまとめを板書。 (生徒ノートに記入) 2.生徒のまとめはホームページで発表、情報発信。	・まとめ 「地球温暖化：CO ₂ -エネルギー消費-火力発電所-自動車排気ガス-化石燃料 ・改善テーマ：3R（リデュース、リユース、リサイクル）、再生可能エネルギー（風力・太陽光発電） -燃料電池」	・白板 ・学校のパソコン

（推進員 高橋さんの感想）

- ・「地球温暖化の仕組みと既に始まっている実態の認識、改善の方向」を学習テーマにしました。進め方では、生徒に集中力を持たせることに注意し、紙芝居、クイズ、キットの見せ所、ワークショップ等の組み込み方は担任の先生とともに考えました。
- ・担任の先生が総合学習に対する明確な目的意識を持っていたので、一貫性のある指導ができました。目的＝「知識として大人が与えるものは与え、子ども達が調べることが調べ、考え、何らかの出口に持っていく」
- ・家庭のCO₂調査やPTA資源回収現場の調査は、子どもから家庭・地域へ発信する環境活動として評価できます。
- ・県民・事業者・行政が一体となって、将来に渡り継続的に推進する必要がある地球温暖化防止活動には、小学校教育の中での理解・訓練が重要であると痛感しております。今後とも大いに進めていきたいと思っています。



〈推進員 高橋栄一氏〉

（学校の先生の感想）

高橋さんが次々と興味深い教材（リサイクルキット、パネル、発電機、エコチェックシートなど）を用意して下さるので、子どもたちも総合的な学習の時間を楽しみにしていました。

環境学習をいかして、子どもたちが環境に配慮した行動をするには、家庭や地域の方と話し合いを持ち、計画的・継続的な学習にしていけたらと思っています。



結び

推進員は、「温暖化STOP親子教室」で学校等へ行くだけでなく、こどもエコクラブや子ども会、放課後児童クラブ等にも要望があれば出向きます。ぜひご活用下さい。

お問い合わせ先

兵庫県地球温暖化防止活動推進センター(ひょうごエコプラザ)
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目1番3号
TEL 078-371-7710 FAX 078-371-7750